

令和 5 年度 九州大学法科大学院入学者選抜試験（一般選抜）

論文試験 試験問題出題趣旨・配点・採点基準

【出題趣旨】

受験者が法律実務家を志望しているはず、ならば、法律実務家となるための訓練に耐えることができる skill および capability を受験者が有していることをアピールする機会を提供しなければならない、との前提で、試験問題を設計した。

- 雄弁な作文は、法律実務では通用しないし、法律実務家となるための訓練の構成要素でもない。しかし、雄弁な作文は、採点者を幻惑させるおそれがある。採点者が幻惑されることを防ぐために、各問の論点を限定して、雄弁な作文による回答がなされる余地をなるべく小さくした。
- 受験者がアピールする機会を提供されるべき、skill および capability は、以下の通り。
 1. Heuristics（例を活用して、目前の問題の解法を、推論できる）
 2. Distinguishment（目前の問題と、例との違いを、認識できる）
 3. Agility（迅速であること）
 4. Specificity（具体的であること）
 5. Unbiased（先入観にとらわれないこと）
 6. Insight（洞察）
 7. Portability among multiple media（実質的に同じ内容を、多様な表現方法で示すこと）

【採点基準】

問 1（選択）

- 受験者がアピールすることが期待される skill または capability
- 与えられた意見の理由に含まれるべき情報を適切に選択できること
- 他の意見の理由の構成を模倣して、利用できること
- 社会通念に沿った情報の選択ができること
- 他の意見の理由と対比できるように、与えられた意見の理由を構成できること

| 問題の番号 | 空欄の記号 | 解答 | 合計12点 |
|-------|-------|------|-------|
| 問1 | <A> | (i) | 3 |
| | | (ii) | 3 |
| | <C> | (i) | 3 |
| | <D> | (i) | 3 |

問2（記述 250 字以内）

- 受験者がアピールすることが期待される skill または capability
- おおむね客観的な事実の記述と、明らかに主観的な意見とを、区別できること
- 文書から、あるモノ又はコトに与えられた qualification（修飾）を、抽出できること
- 当該 qualification の粒度を高めることができること
- 単数形と複数形を区別せずに表現されたモノ又はコトについて、単数であるか複数であるかを区別して、表現し直すことができること
- 上位概念と下位概念の双方を示すことができる語で表現されたモノ又はコトが、実はどちらを示しているかを認識し、それを表現できること
- テクニカルな指示に従うことができること

| 問題の番号 | 採点ポイント (記号) | 採点ポイント (内容) | 合計23 点 |
|-------|----------------|---|-----------|
| 問2 | a | 回答を示そうとしたか？（一または二以上の自立語が書かれていれば可。付属語のみでは不可） | 1 |
| | b (a加点が前提) | “お祭りが行われる季節という観点からすると、このお祭りは、春に行われている。”を、回答に含め「なかった」か？ | 1 |
| | c (a加点が前提) | “だらだらと”を回答に含め「なかった」か？ | 1 |
| | d (a加点が前提) | “観光客に見せるためではなく”を回答に含め「なかった」か？ | 1 |
| | e (a加点が前提) | “人々がただ変わらず生活を続けていくための”を回答に含め「なかった」か？ | 1 |
| | f | 回答には、一つ以上の、文らしきものが含まれているか？ | 1 |
| | g (f加点が前提) | 回答には、一つ以上の、少なくとも主語と述語を含む文が含まれているか？ | 1 |
| | h | “お祭りが行われる場”という観点（表現又は観点到、多少の相違があっても可）を示したか？ | 1 |
| | i (h失点でも可) | “神社”のお祭りであるという特徴を示したか？ | 1 |
| | j | “お祭りに参加する人々の拡がり”という観点（表現又は観点到、多少の相違があっても可。例えば，“どんな人々がお祭りに参加するか”等も可）を示したか？ | 1 |
| | k (j失点でも可) | このお祭りに参加する人々は，“地域の人々”であるという特徴を示したか？ | 1 |
| | l (j失点でも可) | “地域の人”（単数でも、このポイントは、加点する。 “地域の人”を，“地域の人々”（明確な複数形）に書き換えたか？ | 1 |
| | m (j失点でも可) | “もっぱら”のような、地域の人々以外が絶対に参加しないわけではないことを示唆する表現を付加したか？ | 1 |

| | | | |
|------------|---------------|---|---|
| 問2 (続き) | n | “お祭りに登場する乗り物”という観点（表現又は観点到、多少の相違があっても可）を示したか？ | 1 |
| | o (n失点でも可) | "山車"が登場する、という特徴を示したか？ | 1 |
| | p (n失点でも可) | "牛車"が登場する、という特徴を示したか？ | 1 |
| | q (n失点でも可) | "自動車"が登場する、という特徴を示したか？ | 1 |
| | r | "山車の牽き手"という観点（表現又は観点到、多少の相違があっても可）を示したか？ | 1 |
| | s (r失点でも可) | 山車の牽き手が、“地域の人々”であるという特徴を示したか？ “地域の人”（単数）でも、このポイントは、加点する。 | 1 |
| | t (r失点でも可) | “地域の人”を、“地域の人々”（明確な複数形）に書き換えたか？ | 1 |
| | u | "宮司の移動手段"という観点（表現又は観点到、多少の相違があっても可）を示したか？ | 1 |
| | v (u失点でも可) | それが“自動車”であるという特徴を示したか？“車”でも、このポイントは、加点する。 | 1 |
| | w (u失点でも可) | “車”を“自動車”（明確に下位概念を指す）に書き換えたか？ | 1 |

問3の1（選択）

- 受験者がアピールすることが期待される skill または capability
- 【問3の4から6までの回答でアピールさせる】このサンプルの構造を、別の問への回答で利用できること
- 個人的な意見または選好をはなれて、与えられた情報を認知し、これに対して反応するミニマムな capability があること
- 法律実務家に向けた学習について著しい障壁を有しないこと
- 与えられた情報を再利用できること

| 問題の番号 | 空欄の記号 | 解答 | 合計15点 |
|-------|-------|------|-------|
| 問3の1 | <A> | (i) | 3 |
| | | (i) | 3 |
| | <C> | (ii) | 3 |
| | <D> | (i) | 3 |
| | <E> | (ii) | 3 |

問3の2（選択）

受験者がアピールすることが期待される skill または capability

- 【問3の4から6までの回答でアピールさせる】このサンプルの構造を、別の問への回答で利用できること
- 個人的な意見または選好をはなれて、与えられた情報を認知し、これに対して反応するミニマムな capability があること
- ある集合を分類するとき、ある部分集合と、その補集合を選ぶことができること
- <C>の(ii)は「送ったことがある人々」の補集合ではない(それよりも小さな集合である)
- 補集合の部分集合である(ii)を選ぶような人は、認知能力が、思い込みによって制約される傾向が強いと思われるから、法律実務家に向けた学習が困難と予想される

| 問題の番号 | 空欄の記号 | 解答 | 合計18点 |
|-------|-------|------|-------|
| 問3の2 | <A> | (i) | 3 |
| | | (ii) | 3 |
| | <C> | (i) | 3 |
| | <D> | (ii) | 3 |
| | <E> | (ii) | 3 |
| | <F> | (i) | 3 |

問3の3（選択）

受験者がアピールすることが期待される skill または capability

- 【問3の4から6までの回答でアピールさせる】このサンプルの構造を、別の問への回答で利用できること
- 個人的な意見または選好をはなれて、与えられた情報を認知し、これに対して反応するミニマムな capability があること
- 一般の人々が広く使い、法律問題も頻繁におきるメディアについて、認識があること
- 社会ネットワークの拡がり方に対する基本的な理解があること

| 問題番号 | 空欄の記号 | 解答 | 合計6点 |
|------|-------|-------|------|
| 問3の3 | <A> | (iii) | 3 |
| | | (i) | 3 |

問3の4（記述 450字以内）

受験者がアピールすることが期待される skill または capability

- すでに与えられた解法（問3の1、2、3）を転用するスキルがあること
- 情報の拡散の仕方と、付き合いの拡がり方が類似するという、社会ネットワークの常識を知り、活用できること
- 社会ネットワークに対する基本的な理解を、具体的な事実にあてはめることができること
- よく似たものは、よく似た結果を生みがちだ、という、heuristic な思考ができること
- 現実が、heuristic な予測からはずれる可能性を認識できること

| 問題番号 | 採点ポイント (記号) | 採点ポイント (内容) | 合計17 点 |
|------|----------------|---|-----------|
| 問3の4 | a | 回答を示そうとしたか？（一または二以上の自立語が書かれていれば可。付属語のみでは不可） | 1 |
| | b | 回答には、一つ以上の、文らしきものが含まれているか？ | 1 |
| | c (b加点が前提) | 回答には、一つ以上の、少なくとも主語と述語を含む文が含まれているか？ | 1 |
| | d | 「あなた」を「私」に置き換えたか？ | 1 |
| | e | Cの投稿の拡散範囲について検討したか？ | 1 |
| | f (e加点が前提) | 直接の閲覧者に言及したか？ | 1 |
| | g (e加点が前提) | 再拡散をする者に言及したか？ | 1 |
| | h (e加点が前提) | 再拡散された情報の閲覧者に言及したか？ | 1 |
| | i (e加点が前提) | Cの知合いとの関係性に言及したか？ | 1 |

| | | | |
|--------------|---------------|-----------------------------------|---|
| 問3の4 (続き) | j | Cの知合いの拡大範囲について検討したか？ | 1 |
| | k | 「私」の知合いの範囲について検討したか？ | 1 |
| | l (k加点が前提) | 現在の私の知合いの範囲に言及したか？ | 1 |
| | m (k加点が前提) | 今後の私の知合いの範囲に言及したか？ | 1 |
| | n | Cの知合いの拡大範囲と私の知合いの範囲の関係性について検討したか？ | 1 |
| | o (o加点が前提) | その際、Cと「私」の仕事の類似性に言及したか？ | 1 |
| | p | 結論を示したか？ | 1 |
| | q | その結論が楽観的または悲観的であることに言及したか？ | 1 |

問3の5（記述 200 字以内）

- 受験者がアピールすることが期待される skill または capability
- すでに与えられた解法（問3の1、2、3）を転用するスキルがあること
- 自分で issue(s) を発見できること
- 楽観的なシナリオと、悲観的なシナリオとの、双方を想定できること

| 問題の番号 | 採点ポイント (記号) | 採点ポイント (内容) | 合計 7点 |
|-------|----------------|---|----------|
| 問3の5 | a | 回答を示そうとしたか？（一または二以上の自立語が書かれていれば可。付属語のみでは不可） | 1 |
| | b | 回答には、一つ以上の、文らしきものが含まれているか？ | 1 |
| | c (b加点が前提) | 回答には、一つ以上の、少なくとも主語と述語を含む文が含まれているか？ | 1 |
| | d | 「あなた」を「私」に置き換えたか？ | 1 |
| | e | 1つの観点を示したか？（指示に反して2つ以上示していても、減点しない） | 1 |
| | f | 楽観的な見通しを示したか？ | 1 |
| | g | 悲観的な見通しを示したか？ | 1 |

問3の6（記述 200 字以内）

受験者がアピールすることが期待される skill または capability

- 楽観悲観双方の予測があるときに、とりあえず一歩前に進むことができること
- 将来の方針転換の可能性をあらかじめ表明できること

| 問題の番号 | 採点ポイント (記号) | 採点ポイント (内容) | 合計 10点 |
|-------|----------------|---|-----------|
| 問3の6 | a | 回答を示そうとしたか？（一または二以上の自立語が書かれていれば可。付属語のみでは不可） | 1 |
| | b | 回答には、一つ以上の、文らしきものが含まれているか？ | 1 |
| | c (b加点が前提) | 回答には、一つ以上の、少なくとも主語と述語を含む文が含まれているか？ | 1 |
| | d | 「あなた」を「私」に置き換えたか？ | 1 |
| | e | 採否の結論を述べたか？ | 1 |
| | f (e加点が前提) | 「不採用」の結論ならば、別の策を実施または検討することに関及したか？ 「採用」の結論ならば、将来の調整または中止があり得ることに関及したか？ | 1 |
| | g | 採否の理由を述べたか？ | 1 |
| | h (g加点が前提) | 楽観悲観双方の予測が成り立ち得ることが、理由に含まれているか？ | 1 |
| | i (g加点が前提) | 快癒祈願の贈り物を減らす目的に関及したか？ | 1 |
| | j (g加点が前提) | 私の評価を落としたいという制約に関及したか？ | 1 |

問4（記述 400 字以内）

受験者がアピールすることが期待される skill または capability

- 認知能力に顕著な不足がないこと
- より穏当な結論への導きが明らかになされているのに、それを無視しないこと
- 複数の alternatives のそれぞれについて、ポジティブな評価とネガティブな評価との双方を示すことができること
- 個人の能力の限界を認識していること
- 本人の納得感だけでなく、相手方（依頼者）の納得感を考慮することができること

| 問題番号 | 採点ポイント (記号) | 採点ポイント (内容) なお、「実務専門家」を「専門家」とか「実務家」とか書いても、減点しない。 | 合計 27点 |
|------|----------------|---|-----------|
| 問4 | a | 回答を示そうとしたか？（一または二以上の自立語が書かれていれば可。付属語のみでは不可） | 1 |
| | b | 回答には、一つ以上の、文らしきものが含まれているか？ | 1 |
| | c (b加点が前提) | 回答には、一つ以上の、少なくとも主語と述語を含む文が含まれているか？ | 1 |
| | d | (c) を選んだか？ | 5 |
| | e | 一人の実務専門家ができることの限界を指摘したか？ | 2 |
| | f (e加点が前提) | 量的な限界を指摘したか？ | 2 |
| | g (e加点が前提) | 偏頗の可能性を指摘したか？ | 2 |
| | h (e加点が前提) | 理解に失敗する可能性を指摘したか？ | 2 |
| | i | (b) の選択肢を棄てることを宣言したか？ | 1 |

| | | | |
|------------|---------------|--|---|
| 問4 (続き) | j | 多数または集団の実務専門家が、一人の実務専門家の限界を克服できる可能性を指摘したか？（多数と集団については、その一方だけに言及していても可） | 2 |
| | k (j加点が前提) | 量的な限界を克服できる可能性を指摘したか？ | 1 |
| | l (j加点が前提) | 偏頗を是正できる可能性を指摘したか？ | 1 |
| | m (j加点が前提) | 誤りを是正できる可能性を指摘したか？ | 1 |
| | n | (a) がいちおうの選択肢となり得ることを示唆または宣言したか？ ((a) を結論とする場合は、加點しない) | 1 |
| | o | 依頼者に対する説明（あるいは、説明責任または納得感）という視点を示したか？ | 2 |
| | p (o加点が前提) | 自分でもある程度理解していないと説明できない（あるいは、説明責任が果たせない、または、納得が得られにくい）ことに言及したか？ | 2 |

問5（記述 125 字以内）

- ・ 受験者がアピールすることが期待される skill または capability
- ・ 既に与えられている情報を活用できること
- ・ Matured であること（穏当な選択ができること）
- ・ Challenge もあり得るという志向を示すこと

| 問題の番号 | 採点ポイント (記号) | 採点ポイント (内容) なお、「実務専門家」を「専門家」とか「実務家」とか書いても、減点しない。 | 合計15 点 |
|-------|----------------|---|-----------|
| 問4 | a | 回答を示そうとしたか？（一または二以上の自立語が書かれていれば可。付属語のみでは不可） | 1 |
| | b | 回答には、一つ以上の、文らしきものが含まれているか？ | 1 |
| | c (b加点が前提) | 回答には、一つ以上の、少なくとも主語と述語を含む文が含まれているか？ | 1 |
| | d | 実験または先行事例（一方だけでも可）に言及したか？ | 1 |
| | e (d加点が前提) | それが実務専門家によるものであることを要求したか？ | 1 |
| | f (d加点が前提) | それが皆無でないことを要求したか？ | 1 |
| | g (d加点が前提) | 好ましい結果を示す例があることを要求したか？ | 1 |
| | h | 不都合な結果（副作用などの語でもよい）が重大ではないことを要求したか？ | 2 |
| | i | 標準的な対処方法の利用に言及したか？ | 2 |
| | j (i加点が前提) | 標準的な対処方法が問題を解決できる可能性が非常に低いことに言及したか？ | 2 |
| | k | 依頼者の希望を絶対視していないか？（依頼者の希望について何も書いていなくても、加点） | 2 |